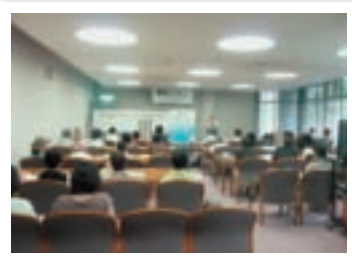


2009年ピースアクション

⑤ ロンドンに参加して

8月5～6日の2日間にかけて、日本生活協同組合連合会・広島県生活協同組合主催のピースアクション企画に「よどがわ」組合員とご家族8名、職員2名で参加してきました。



今年も広島に暑い夏がきました。「忘れられない夏です。被爆者は64年前に受けた放射能の影響で、いまだに苦しみます。その悲惨な日、64年前のヒロシマ・ナガサキで起こった事を忘れてはいけません」

という思いで参加しました。

一日目は、被爆された方の体験談やアニメ「太陽をなくした日」の鑑賞と作家、監督の解説などを聞き、二日目は被爆から64年を迎えた原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加しました。



今年の4月に米国のオバマ大統領が「核兵器を使った唯一の国として」「核兵器のない世界」実現のために努力する「道義的責任」があると宣言しました。平和祈念式典では、秋葉忠利広島市長が日本や

世界の大多数の市民の声に耳を傾けたこのオバマ大統領の宣言を支持し、この点を強調するため世界の多数派である私たち自身を「オバマジョリティー」と呼び、力を合わせて2020年までに核兵器廃絶を実現しようと世界に呼びかけられました。世界の国々では今もなお戦争や暴力により尊い命が途絶えています。核兵器廃絶を願う私たちは、平和のために活動する責任があると思います。



(組織部 高倉)

みんなの願いはひとつ この悲劇をくり返さないで



江種 祐司 さん
1927年(昭和2年)生まれ。当時17歳、広島師範学校生

当時の学校は、授業というものは無く朝から晩まで学徒動員で一日も休まず、軍事基地で働いていました。広島には、軍隊の施設が多くあり、広島港には弾薬庫、中国軍管区司令部などがあり、中国地方の軍中樞部がありました。

その中で私は、働いていました。8月6日午前8時15分頃原子爆弾が投下された時建物の中にいました。6キロ先に投下された原子爆弾で、左の頬がものすごく熱く目の前が揺れ動き、そこから先は机の下に隠れ、その後周囲の音が全く聞こえなくなりました。

動きが止み周囲を見渡すと、窓ガラスがすべて割れて、柱がくの字に曲がっており、外に出て広島市内を見ると、今まで見た事のない異様な雲が広がっていました。まず私は、この状態をいち早く確認したくて、知人を探していると言ったと確認していた女学生たち窓ガラスの破片が突き刺さり、今まで経験した事のない何かが起こったと確信しました。

生存者の家族のほとんどが広島市内に暮らしているの、その家族の安否確認調査の命令を受け友人と二人で広島市内に向かって歩いて行くと、学校へ避難してくる人たちは、すすただけで、髪の毛は逆立っており、市内に近づくと人はうごめき、手の先から皮膚を垂らし、熱さのせいで、近くの川に飛び込む方で川の水面が見えないほどでした。大やけどを負った人が、私達の姿を見ると、

参加者の声

「江種さんの被爆の証言」 是永 知美さん(中学生)

私は、江種さんの被爆の証言を聞いて、もっと多くの人に聞いてもらいたいなと、思いました。原爆の事実を知らないで、世界では「広島、広島」と言っておられました。確かに私は、江種さんの証言を聞くまでは、原爆の事実を何も知らなかったです。だから、まだ多くの人も知らないと思います。この原爆によって、どれだけの方が苦しみ、悲しんだかを多くの方が知らなければならぬと思います。

この証言を聞いて、私は怖くて眠れなくなりました。江種さんの「水～、水～」という声が聞こえてきた」という話はすごく怖くて、私はその話をふと思ひ出し、遠くから「水～、水～」と聞こえてきそうでした。その証言がとても強く印象に残りました。

きっとこの広島で聞いた証言は、大人になっても覚えていると思います。覚えていなければならないです。一生忘れる事の出来ない証言だったと思います。

少しがまんしたり、気をつけることが大切だとしみじみ感じました。そして日頃いかに無駄にしていたか。電気がつけばなしなんでも多く使ったことがよくわかってよかったです。

生協に加入してスーパーへの買い物回数が減りました。うちのたまってたレジ袋も減りました。もっと嬉しいのはお財布にもエコの効果。

日頃から心がけているつもりでしたが、やはり気のゆるんでいることがわかり、良い機会となりました。子どももまだ素直に聞いてくれて話のネタになりました。

買い物時にマイバッグを持つ人が増えた気がします。私もそうしていますが、少し気持ちの良いことをしたと思える自分がいて気持ちいいですね♡

少しの心がけてたくさんCO2が減らせることに驚きました。子どもの送迎に毎日自動車を利用していますが、できるだけバス等に乗るようにしようと思います。

最初はなんだかめんどうだなと思っていたのですが、家族で声をかけあいながら楽しく取り組みました。



NEWS FILE

ニユースファイル

【一日エコライフ結果発表】

コープみんなでエコキャンペーン NEWS

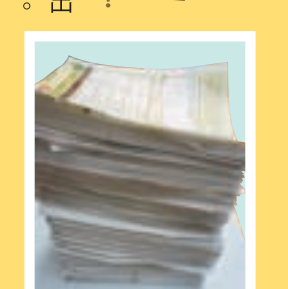
参加人数 **10016人** で
目標達成!

回収枚数 3610枚

4472kgのCO2を削減することができました!

地球温暖化を防ぐためになるべくCO2を出さないように取り組んできた「エコライフ」。

7月13日に配布した「1日エコライフチャレンジシート」今年3610枚提出されました。



3,610枚の返信がありました